



観光立国をめざして

大沼 北海道

Onuma, HOKKAIDO



大沼国立公園のシンボル北海道駒ヶ岳。森町、鹿部町、七飯町にまたがる標高1,131mの活火山で6月1日から10月31日までは標高900m付近の馬の瀬まで登山が楽しめる。(森町のカフェ「ヨコデッセ」の窓から)



森町の広大な野菜畑「北の旬菜倶楽部」で出合った見事なアスパラガス。7月はメロン、8月からはとうもろこし、じゃがいも、9月には枝豆が旬を迎える

大沼の酪農地帯はいくつもの牧場が続くミルクロード。添加物を使用しない手作りのチーズやソフトクリームは絶品



ミシュランガイドブックにも掲載された人気の鮨店「おおね田」のご主人



源泉かけ流しの温泉が点在。グリーンピア大沼の露天風呂で



文・撮影／大野尚子（旅行ジャーナリスト）『月刊アジア倶楽部』元編集長。NHK「関西ラジオリポート」の今アジア情報」を17年間担当、レギュラー出演中。日本旅のベンドラフ理事、日本ベトナム経済交流センター顧問、朝日カルチャーセンター講師。2010年よりソウル観光広報名誉記者、台湾埔里親善大使、韓国安東観光サポーターズ。『ベトナム家庭料理入門』（農文協）、「菜食のすすめ」（PHP）など共著書多数。イベント・コーディネーターとしても多忙。



2016年の春に開業した北海道新幹線は青函トンネルに入る時刻を知らせてくれる



とびきり豊かな大地の恵み

広大な北の大地が「北海道」と命名されて今年2018年は150年の記念の年。青函トンネル開通30周年でもある。北海道が節目の年を迎えている。さらには2016年3月に北海道新幹線の新青森、新函館北斗間が開業し、関東や青森からの旅行者が急増。函館市観光部の調べによると函館を訪れた観光客は新幹線開業の前年に比べて開業後は約66万人増の約560万7000人に。

「旧英国総領事館も函館山ロープウェイも1.5倍増」と函館観光コンベンション協会の高松義彦さん。東京駅から「はやぶさ5号」で函館を目指した。所要時間は約4時間15分。全席指定の座席はゆったりで快適。青函トンネルに入る時刻を知らせる車内放送も流れた。トンネル走行は25分間。青函トンネルを抜けると「ようこそ北海道へ」のアナウンス。ワクワクさせてくれる。大沼国立公園など北海道駒ヶ岳山麓の町では源泉かけ流しの温泉や旬の野菜、極上の握り鮓、牧場手作りのチーズやソフトクリームなどにとびきり豊かな大地の恵みが迎えてくれる。